

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年3月7日

事業所番号	2775502814	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	医療生協かわち野生活協同組合		近畿マネジメント・サポート・センタ
事業所名	グループホーム よおぎ	所在地	大阪市東住吉区山坂5-5-14-103
所在地	大阪府八尾市八尾木6-100	評価調査日	平成 20 年 2 月 29 日
	電話072-925-8730	評価確定日	平成 20 年 3 月 8 日

【情報提供票より】 (平成20年2月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数	18 人
職員数	15 常勤 1 人 非常勤 13 人	常勤換算	13.1 人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋 造り 3階建ての3階部分
-------	--------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	50,000円	その他の経費 (月額 15,000 円)		
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 300,000円	料金延滞時補填し残額返却	償却の有無 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		45,000	円

(4) 利用者の概要 (2月8日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	5名	要介護2	6名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	62才	最高	93才
(5) 協力医療機関名					
八尾クリニック					

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

利用者の皆さんの笑顔と、笑い声の絶えないホームで、その上、構成する生協組合員の事業所に対する関心が高く、何かにつけて応援して頂いており、職員は感謝している。ホーム運営の職員のチームワークも優れており開設満2年ながら、利用者の過去の生活状況や、性格等の基本を把握して記録し、介護の基本としている。また、介護に当たっては能率よりも職員の気遣いの優しさを大切にしている

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	各居室の手摺りは新設されており、散歩は時間を決めて買物も含めて行われていた。利用者の現金については原則として立替払いとしている。地元の方々との付き合いは、少しずつ進められているが、近隣に同じ生協の組合員が居られ、何かと配慮を頂いている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員のチームワークが順調に行われているので、今回の自己評価票の作成には、管理者の原案を職場会議で一緒になって検討、反省、提案等が行われた
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は平成18年11月25日に第1回が開催され、平成20年1月16日までに計8回開催している。主な討議内容は、認知症についての説明と話し合い、及びホームでの生活状況の説明等が行われている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族からの意見、苦情その他については、来訪時には出来るだけ寄り添って説明を行っており、すぐ出来ることについては、直ちに対応している。家族アンケートの集計結果を見ても、特に、ご不満はなく、安心しておられる
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議で地域の方々との交流を進めている。何より地元の生協の会員さんの関心が高いので、管理者は感謝しておられる

（ 部分は重点項目です）

 取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	<input type="radio"/> 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域を基盤とした生活協同組合を母体としており、理念は「自分らしく生きる、人権の尊重、安全安心」を掲示している		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念を、職場の定例会議、研修会等で再確認して職員に伝えている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	組織の基盤は地域の方々にあるが、運営推進会議によって、地域の自治組織とも交流が進められている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	利用者に、安心と笑いの生活を送って頂けるよう、優しさを大切にしている。介護の向上は、本人をよく知ることから始めている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	平成18年11月25日の第1回から平成20年1月16日まで、計8回の運営推進会議を開催された。出席の各委員との交流が始まっており、地域への働きかけも検討されている	<input type="radio"/>	ホーム地元の自治会への加入を通して、人的交流を深めるよう検討して欲しい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	八尾市高齢介護基盤プロジェクト・チームとの連絡により、他のグループホームとの交流で、サービスの質の向上を進めようとしている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	カラー写真入り印刷の「ホーム便り」を、毎月の請求書に同封して、暮らしぶりを知っていただくようにしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や来訪時に伺った事案については、職場会議に諮って運営している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	介護のレベルは殆どが職員のレベルアップによるので、知識と実技の両面から、個人学習(通信教育含む)、チームでの研修等を織り交ぜて、年度計画から検討して欲しい
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		八尾市主催のグループホーム分科会に参加して、交流を深めている

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		入居前からあせらずに、徐々に慣れて頂く様にしている。その上で、本人が納得していただくから、入居することになっている
--	----	----	---	--	---

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員には、利用者を人生の先輩として接するように日頃から指示されている。また、昼間の共用室では笑い声の絶えない関係が持たれている。
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		一人ひとり丁寧に話し合うようにして、本人の本当の気持ちや、性格を把握するようにしている
--	----	----	--	--	---

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		毎月のケア会議で、職員が夫々利用者の本音や、性格判断の発表をおこなって検討し、それを基にして、新たな介護計画作成に取り組んでいる
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	職員のチームワークで、2年前からセンター方式に沿った、本人の入居以前から現在までの症状も含めた事実の集積を行い、これを新たな計画作成に活かしている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の医療法人に、医療福祉関係の事業所が複数あり、適宜に支援している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	掛かり付けの医師や事業所が、ホームと同じ法人なので、連携交流により適切な処置が出来ている		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約の際には話し合っており、その後も、症状に応じて本人、家族、医師との話し合いで方針の共有を行っている。	○	入居年数が長くなってくれば必然的にこのケースは増加するので、ホームとしてどのようにするのかを話し合い、共通理解としておいて欲しい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシーと個人の尊厳は、職員には随時、注意を喚起している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての各業務の時間管理が行われているが、それを優先せずに、利用者のペースに出来るだけ沿った処置を行うよう指示している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、同じ建物内の法人の各施設との合同の厨房で用意されている。週3回、味噌汁作りをホームで利用者と共同で行っている。リクエストの食事や外食は、適宜、実施している		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		